

(参考)

第1次選抜加点評価項目に関する調査書記載例

(裏)

※	※	※	※						
5. 出欠の記録									
学年	1	2	3	4	学年	1	2	3	4
区分					区分				
授業日数	189	189	63		欠席日数	1	0	0	
出席停止・忌引き等の日数	0	0	0		出席日数	188	189	63	
留学中の授業日数	0	0	0		備考	皆勤			
出席しなければならない日数	189	189	63						
6. 特別活動の記録	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		
	前期体育委員		2学期保健委員 文化祭企画委員		生徒会(会長)				
7. 指導上参考となる諸事項	(1) 学習における特徴等 (2) 行動の特徴、特技等	(3) 部活動、ボランティア活動等 (4) 取得資格、検定等		(5) その他					
	第1学年	柔道部 実用英語技能検定準2級 ボランティア活動(注1) 〔企画・実施団体等：山口市〕 内容：山口市〇〇学校で学習 支援ボランティア活動他 〔従事日数：合計7日〕		全国高等学校文芸コンクール 入選 〇〇市主催青少年語学研修 参加(期間：8月1日～8月20日、 研修地：米国△△州□□市)					
	第2学年	柔道部 ITパスポート試験合格 ボランティア活動(注1) 〔企画・実施団体等：山口市〕 内容：山口市〇〇学校で学習 支援ボランティア活動他 〔従事日数：合計7日〕		山口大学で実施された先端技術体験学習に参加し、増加単位1単位を修得している。					
	第3学年	柔道部(部長) TOEIC(L&R) 515点		日本生物学オリンピック予選 参加(注2) 〔得点：〇点(100点満点)〕 〔順位：〇名中〇位〕 〔予選通過結果：通過なし〕					
	第4学年								
8. 総合的な学習の時間の内容・評価	活動内容	第1学年：グループ別研究 第2学年：英語プレゼンテーション大会(SSHプログラム) 第3学年：小論文学習							
	評価	第1学年：グループ別研究の発表活動は、同僚教師との協働により、各グループが自主的に活動を進め、発表内容も充実していた。第2学年：英語プレゼンテーション大会では、各グループが事前に準備したプレゼンテーション資料を、大会当日に発表し、観客からの質問にも適切に対応していた。第3学年：小論文学習では、各グループが事前に準備した小論文を、大会当日に発表し、観客からの質問にも適切に対応していた。							
9. 備考	第3学年の成績出欠は1学期末までのものである SSH(スーパーサイエンスハイスクール)カリキュラム単位を修得								
この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する 平成 年 月 日 学校名 〇〇高等学校 所在地 山口県山口市吉田〇〇〇-〇〇 校長名 〇〇〇〇 印 記載責任者職氏名 教諭 〇〇〇〇 印									

(注1) 第1次選抜における加点評価対象は、1つ又は複数のボランティア活動日数が通算して14日以上となる場合。複数の場合は主たる活動のみ記入し、従事日数は各学年ごとの合計とする。

(注2) 各オリンピックの成績表等の表記に従って記入。